

教育の基本方針，設置学科等について

1 第3回新しい学校づくり阿南市地域協議会における論点整理

- (1) 日 時 平成19年8月6日(月) 午後7時から午後9時まで
- (2) 場 所 阿南工業高校 会議室
- (3) 議 題 新しい学校の教育の基本方針について

新しい学校のあり方・教育内容について

阿南工業高校と新野高校とを再編統合する新しい高校が，富岡西高校，富岡東高校と並び立つような素晴らしい高校となるように考えていく必要がある。

普通科高校としては，富岡西高校と富岡東高校を残すこととなっているため，技術者や職業人としての視点を持って考えていく必要がある。

現在行われている阿南工業高校，新野高校の教育や伝統を大切に引き継ぎ，統合されたときにそれらを相互に活かしていくことも重要である。

普通科と比べると，職業科は，卒業後地元就職する生徒が多く，地域との関わりが深い。新しい学校の魅力づくりのため，新しい学校を卒業すると地元就職できるようにする必要がある。

阿南地区には多様な産業があり，卒業生が就職できる場があるため，地元で育ち，地域の産業をさらに発展させ，地域を担っていく人材を育成するという観点が必要である。

少子化の中で，今の阿南工業高校と新野高校を合わせた定員をずっと確保していくことは難しい。「本当に何が必要か」を考えて教育内容を検討していく必要がある。

ちょっとしたことで挫折する子供が増えているように感じる。社会の厳しさ，現実には負けずに立ち向かえるような心身ともに強い子どもを育てる項目を基本方針に付け加えてほしい。

高校の職業学科を選択するときに，遠距離通学となり時間的・経済的負担が生じるケースもあるが，阿南市内に魅力的な専門高校を創ることができれば，そういう面でもメリットがある。

学科や系列について

県南の産業，工業基盤を支えることや今までの実績を考えても，阿南工業高校の機械，電気，土木の3分野の教育は必要であり，この3学科の存続については地域からも支持されると思う。

総合学科の課題として，増加傾向にある女子の受け皿となる系列の検討が挙げられる。そのため商業関係の系列の設置などについても検討していかなくてはならない。

現在の阿南工業高校と新野高校で展開されている教育をそのまま引き継ぐだけではいけない。新しい教育内容や学科について検討する必要がある。

生徒数が減少していく中で学科も精選していく必要がある。多くの学科を設置することはできない。看護，食物などの教育が必要ということになれば，学科やコースではなく総合学科の選択科目として開講することで，生徒のニーズに対応できるようにしていくことがよいのではないか。

その他

中学生のニーズがどこにあるのかを把握して、議論を進めていくことが大切である。教育内容が大切であることは理解できるが、学校規模や施設のことを具体的に協議していかなければ、理念ばかりに終始して具体的な図面を描けないのではないか。財政的に厳しいことは理解するが、魅力ある学校を目指す以上、既存施設の有効活用ではなく新設がよいのではないか。大勢では自分の意見が十分出し切れず集約もできにくい。少人数で会を持って議論し、それをもとに全体会で議論を深めてはどうか。小学校の保護者の中には、中高一貫教育を希望する子どもや保護者もいるが、現時点では徳島市まで通うことになり、生活面でも経済面でも大きな負担が生じている。是非、中高一貫教育を県南部に導入して、負担を考えずに自由に選択できるようにしてほしい。中高一貫教育校に入学した子どもと保護者は満足すると思うが、不合格となった子どもと保護者の気持ちや、中高一貫教育の導入による周辺の小規模中学校への影響を十分考慮してほしい。導入にあたっては、中学校の教員や生徒、保護者の意見も十分尊重してほしい。中高一貫教育校の導入にあたっては、今回のご意見を参考にしながら、別組織を立ち上げて十分に検討していきたい。

2 教育の基本方針(案)

(1)目指す学校像

生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校
国際化、情報化など時代の変化や多様な生徒の進路に対応できる学校
望ましい職業観、勤労観を育成する学校
豊かな人間性をはぐくむ学校
地域に開かれ、地域に貢献できる学校

(2)育てたい生徒像

自ら学び、自ら考え、主体的に判断・行動できる心身ともにたくましい生徒
国際化・情報化社会に対応できるコミュニケーション能力や情報活用能力を身につけた生徒
インターンシップなどを通して、望ましい職業観、勤労観や社会規範を身につけた生徒
互いの人権や自他の生命を尊重し、支え合う仲間づくりに努める生徒
地域の一員として、ボランティア活動などにも進んで取り組める生徒

